「動態分析 条件作成」

動態分析の条件作成では、簡単にいうと「どのくらい儲かりたいのか」を決めます。

そして、詳細を詰めていくと何%儲かりたいのか、ドローダウンはどのくらい許容するのか、日数は何日で?を設定します。

次に、売買条件の元になる株価遺伝子(DNA)の長さを決めます。

JP法のデータは最大で300日、300週、300ヶ月です。

なので、株価DNAの長さが長いと、初期データがその分必要となり、作成された株価 DNAは少なくなる傾向があります。

今回は、この売買条件の作成を初期設定値からアレンジしてみます。

■条件作成

条件作成から「条件設定」をクリックします。

下記のの数値をアレンジします。



まずは、フォルダを新しく作成します。

※今まで作成した売買条件が上書きされないためです。

ここでは、下記のように今日の日付としました。※フォルダ名はなんてもいいです。

C:\frac{\text{YWinJPDta}\text{\text{BEST20241102}\text{\text{\text{Y}}}}{\text{WinJPDta}\text{\text{\text{BEST20241102}\text{\text{\text{\text{\text{\text{W}}}}}

フォルダ作成をクリックします。





フォルダが作成されたら、数値を変更します。

このように変更しました。※日足用スイングトレードの条件を少し手直し



売買条件の長さを50日としました。

100日だと、JP法のデータのおよそ三分の一を使いますので、そこまで使わず、 半分の50日としました。

ざっくりいうと、2ヶ月間のデータから株価DNAを作成する。となります。 そして「条件設定保存」をクリックします。



次に売買条件を作成するに辺り、どこからどこまでのデータで作成するかを決めます。

通常は全期間ですが、2024年スタートから、最高値を付けた7月11日までとしました。

条件を作るに辺り、チャートを見てフシ目を基準にするのも一考です。

最高値、最安値などがターゲットになります、

この期間で売買条件を作る



JP法のデータは20日に一度、日足・週足のシフトが発生します。 古いデータ20日間を削除し、新しい20日間のデータ枠を作成する作業の事です。

ところてん方式に古いデータがなくなり、その分新しい枠が作成されます。

よって、今は2024年スタートから売買条件は作成出来ますが、そのうちデータがなくなり、作成出来なくなります。

作成開始日付と作成最後日付を下記のように変更し、「実行」します。

※ここでは「日経平均採用銘柄」のみについて売買条件を作成します。 特段理由はありません。全銘柄だと時間がかかるからです。



売買条件の作成が終了すると、画面が消えます。

次は「検索」です。

■検索

売買条件を作成する最後の日付が7月11日。

この日以降が、本番です。

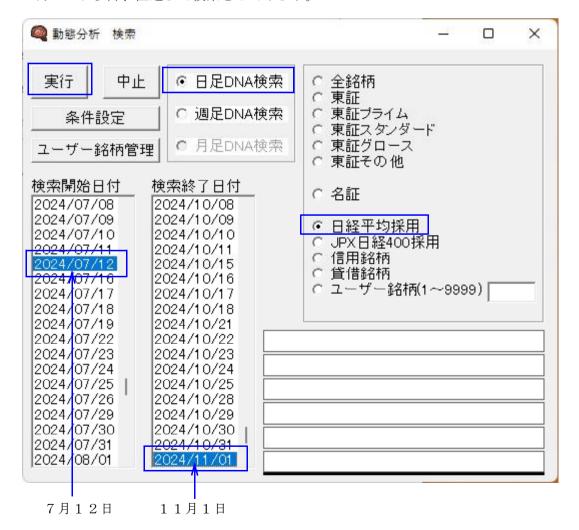
2024年スタートから7月11日までで売買条件は作成しましたから、この期間は当然儲かっています。

※動態分析の売買条件作成とは、作成した期間で儲かる条件しか保存されません。 究極の最適化、カーブフィッティング機能といえます。

通常の最適化、カーブフィッティングとは、トータルで儲かればいい。1カ所くらい損をしていても、その条件は採用となりますが、動態分析は違います。

1つ1つの売買サインが必ず儲からないとその条件は保存されずボツとなります。

7月12日以降、直近まで検索をしてみます。



■検索結果

「日足」の検索結果をみてみましょう。

下記の表をダブルクリックするとチャートが表示されます。



7月11日

このように天井づかみとなる銘柄もありますが、こういう場合はロスカットを守りましょう。



拡大

1880:日付24/10/28 始:7280 高:7869 安:7275 終:7855 前差:986 出:8574 指標:0.000 動態分析売買ファイル作成日:2024/11/02 15:49:41 生成日:2024/07/03 合格番号:42 合格番号上昇下降率:6.32 全ての合格番号:上昇下降率:37:5.8 39:13.55 42:6.32 全ての合格数:3 全ての合格平均上昇下降率:8.56 目標値:8527 ロスカット:7819.35

過去、全てのポイントで儲かったんだから、将来も儲かると期待したいところですが、 そう上手くはいきません。

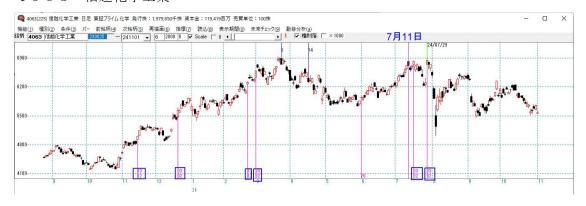
上手くいって欲しいところですが、これがテクニカル分析の限界でもあります。

合格した銘柄を仕掛けるかどうかの選別ですが、合格銘柄を見てみると複数の日付で合格しているものがあります。

		A-17-			10
-No	CODE	一銘柄名一	上場区分	-終値-	
1	2002	日清製粉グ	ブライム	1691.5	24/08/05
2	2269	明治HLDG	ブライム	3752	24/07/25
3	2432	ディー・エヌ・	ブライム	1699	24/08/19
4	3092	ZOZO	ブライム	5451	24/10/17
5	4063	信越化学工	ブライム	6817	24/07/17
6	4063	信越化学工	ブライム	6844	24/07/29
7	4385	メルカリ	ブライム	2344.5	24/07/18
8	4519	中外製薬	ブライム	7855	24/10/28
9	4689	LINEヤフー	ブライム	350.6	24/08/02
10	5406	神戸製鋼所	ブライム	1822	24/08/01
11	5803	フジクラ	ブライム	3989	24/08/28
12	6473	ジェイテクト	ブライム	1037	24/08/01
13	6701	NEC	ブライム	14030	24/09/26
14	6701	NEC	ブライム	13925	24/10/07
15	6702	富士通	プライム	2700	24/07/26
16	6702	富士通	ブライム	3024	24/09/27
17	6976	太陽誘電	ブライム	5037	24/07/16
18	7013	IHI	ブライム	6730	24/09/12
19	7013	IHI	プライム	6642	24/09/18
20	7013	IHI	プライム	6895	24/09/19
21	7013	IHI	ブライム	7990	24/10/01
22	7261	マツダ	プライム	1302	24/08/01
23	7733	オリンバスチ	ブライム	2850	24/10/24
24	8015	豊田通商	プライム	2409	24/08/07
25	8591	オリックス	ブライム	3703	24/07/16
26	9107	川崎汽船	ブライム	2155	24/08/02
27		コナミグルー	プライム	11940	24/07/12
28		コナミグルー	ブライム	13550	24/09/13

こういった銘柄に注目したり、同じ日に複数の売買サインが点灯した銘柄に注目してもいいでしょう。

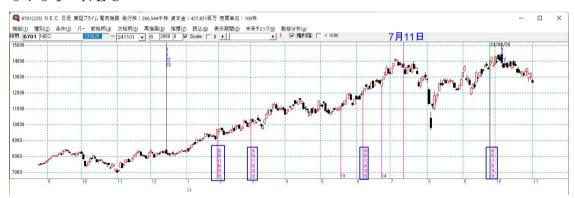
4063 信越化学工業



同じ条件に合格しているが、最初の2回は良かったが、3回、4回と天井づかみとなっている。

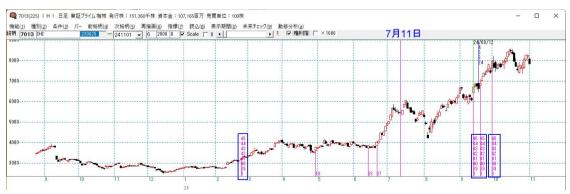
こういう場合は、サインが出ても注意。

6701 NEC



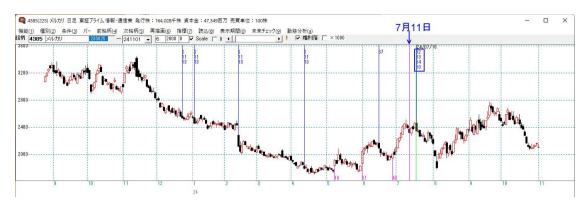
過去3回は良し。しかし、9月26日の同じサインでは、大きな利益とはならず、10月7日の売りサイン点灯。ここで手仕舞い。

7013 IHI



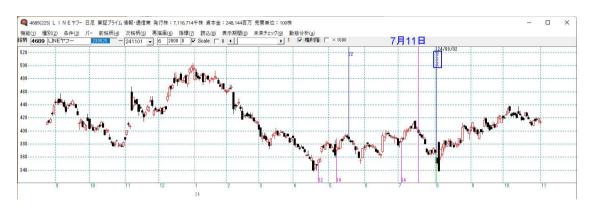
9月18日に売りサイン、ここで手仕舞い。翌日買いサイン、再び仕掛ける。

4385 メルカリ



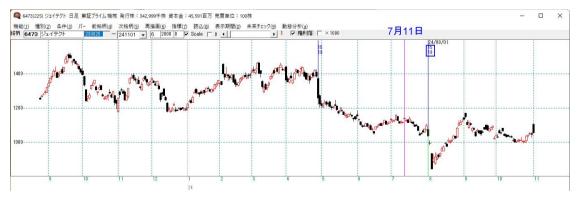
7月18日に売りサインが複数点灯。空売り、または手仕舞い売り。

4689 LINEヤフー



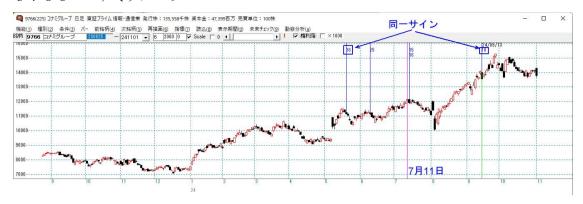
8月2日に複数、売りサイン。翌日大陰線。ここで手仕舞えれば利益だか、目標値には届いていない。

6473 ジェイテクト



8月1日に2つサインが点灯。翌日仕掛けて、8月5日に目標値に到達。

9766 コナミグループ



9月13日の売りサインは、5月22日と同じもので、下落が期待されたが、反発して上へ。ロスカットで手仕舞う。

7月12日の売りサインは2つ点灯。下がってはいるが「5日先」までには目標値には届いていない。

■考察

いくつか合格銘柄をみてきましたが、そうそうピタリと儲かる時は少なそうです。

目標値に達していなくても、早めの手仕舞いも考えた方がよさそうです。

今回の条件で合格銘柄は多く出てきませんでしたが、緩めればそれなりに出てきます。

設定したロスカットを守っていれば、儲かっていくのではないかと考えます。

まだ動熊分析は作成途中です。

検索結果を充実していきたいと思っています。

例えば、合格銘柄の検証が出来るようにする。これは、仕掛値と最高値、最安値との比較、目標値との比較、ロスカットとの比較を算出し、どうなったのかを表中に書き出す。 IP2000の「絞り込み検証」の結果みたいなものです。

X

売買条件作成時の検証は、サインが点灯した当日の終値ではなく、翌寄付で仕掛けて、 儲かったかどうかを調べています。

×